

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	58
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	コミュニティバス運行事業					
予算科目	2 款 1 項 12 目					
予算事業名	交通アクセス対策費					
総合計画での位置づけ	便利な都市環境をつくる					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	矢山 良寛			
事業担当者	安部 憲一郎	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	選択してください					
法令根拠等	-					
事業の対象	町民					
事業の目的	町民の買い物や通院といった、普段の生活における交通手段の確保及び交通弱者の利便性の向上を図るため、町内における路線バス等との地域公共交通ネットワークの確立と交通空白地の解消					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	デザイン性に富んだポンチョタイプのバス(定員24名)を有料(100円)にて町内を巡回するコミュニティバスとして運行。平日・土日祝日とも一日10便運行。運行形態については、地域公共交通活性化協議会を開催し、改善等を実施					
目的達成の指標	コミュニティバスの利用者数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	人	10,000	11,000	12,800	
	実績	人	10,681	11,864		
指標設定の考え方	利用者が増えることは、利用者のニーズに沿った公共交通の提供となり、住民の生活の利便性向上に繋がると考えるため。					
事業遂行時懸案事項等	平成29年11月より、利便性の向上を目的にバス2台体制で順周りと逆周りの双方向で運行を開始し、移行の利用者数は徐々に増加している状況である。 しかしながら、費用対効果の面から見るとまだまだ利用者を増やしていく必要がある。 そのため、高齢者を中心としたマイカー利用者のバスへの利用転換を図るなどして利用者の増に努めていく。					
事業実施時懸案事項対応等	○バスを2台体制にする際に、利用者が分かりやすい時刻表やサインの表示を行うようにした。 ○エコバスを使っていない方々へ世代別にヒアリングを実施し、課題等の抽出を実施した。					

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,156 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	947	959	955
事業費	直接事業費	10,500	22,310	22,000
	人件費	947	959	955
	合 計	11,447	23,269	22,955
財源内訳	国庫支出金	4,294	4,255	3,633
	県支出金			
	地方債			
	その他	360	360	
	一般財源	6,793	18,654	19,322
合 計	11,447	23,269	22,955	22,955

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	10,500	22,310	22,000	22,000	
実 績	9,620	15,044			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
運行事業者(西鉄)との協議	回			12	12
		12	12		
利用者のニーズ把握調査	回			1	1
		1	1		
観光イベント時にアクセス手段として印刷物に掲載	回			3	3
		3	3		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,344 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.13	0.13	0.15
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	879	959	1,069
事業費	直接事業費	9,620	22,310	15,044
	人件費	879	959	1,069
	合 計	10,499	23,269	16,113
財源内訳	国庫支出金	4,294	4,255	4,255
	県支出金		0	0
	地方債		0	0
	その他		360	360
	一般財源	6,205	18,654	11,498
合 計	10,499	23,269	16,113	

実施備忘録

自己評価 | 評価者 | 安部 憲一郎

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

鉄道のない当町においては、バスでの移動は大変重要な交通手段となっている。イコバスは、町内を通る路線バス(JR九州バス、西鉄バス)との接続を可能にする交通手段として必要であり、直近3年間の利用状況から見ても毎年約4%ずつ利用者数が増加しており、必要性も増してきていると思われる。

また、路線バスだけではカバーできない地域を運行することにより交通空白地に住んである方や、交通手段が無く買い物や通院といった生活に必要な移動に困っている方にとっても重要な役割を持っていると言える。

毎年、利用実態調査を実施し、利用状況を調査・検証し効率性の確保や利用者のニーズの把握に努めている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

利用者数については前年度までも増加傾向にあったが、平成29年11月よりバスを2台体制で運行したことにより、さらに利用者は増えており、11月以降の前年同月の利用状況を比較すると約20%の増加となっている。しかしながら、費用対効果の面から見ると、まだまだ十分ではなく、今後も、まだ利用したことのない方やイコバスのことを知らない方など潜在的な利用者を発掘し新規利用につなげるため、利用者のターゲットを絞り、利用モデルなどを提案するなどして利用促進の働きかけを行う。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？	4	B
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？	4	B
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

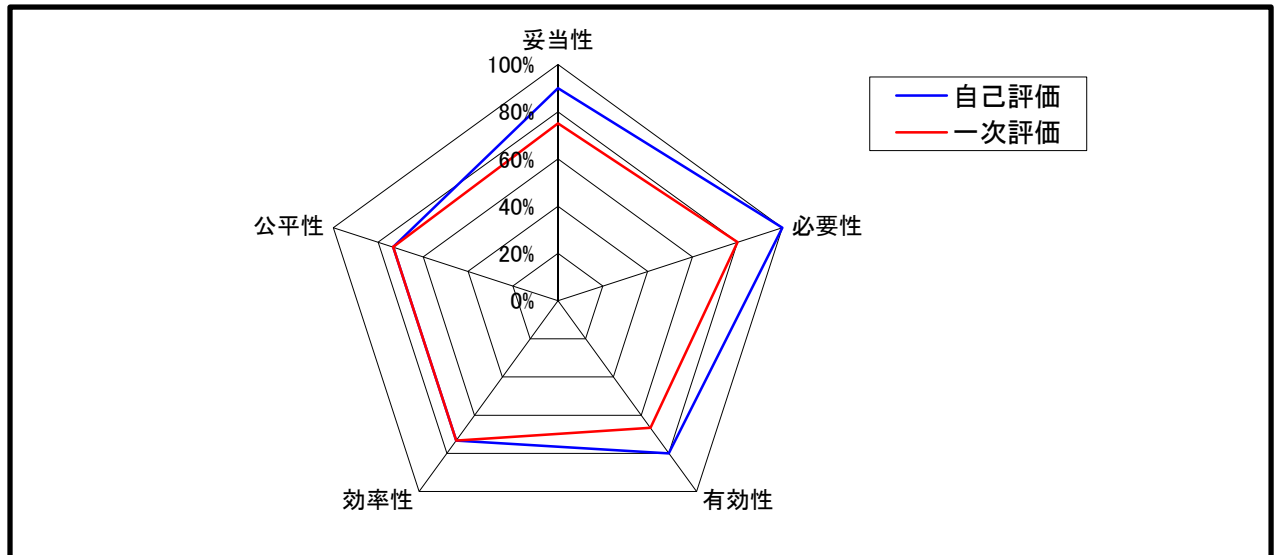


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

昨年度の11月から2台体制となり、イコバスユーザーとしては増加している。今後は、平成30、31年度までに現行路線、体制を維持する。その後、利用者の動向や利用者数等を基に、効率の悪い路線等については、見直しを検討する。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	矢山 良寛
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

利用者数は増加傾向となっているが、費用対効果の面で更なる利用者増に繋がる取り組みを展開していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価